

しんがたコロナウイルスについて

今、広がっているコロナウイルスは、あたらしいウイルスで、たくさんの方が、びょうきになりやすくなっています。

こどもは、コロナウイルスでは、はなみずやせきのような、かぜのしょうじょうが軽くすんでなおっていることがおおいようです。

ところが、おじいさん、おばあさんや、もともとびょうきをもっている人などは、このウイルスにかかると、むねがくるしくなったり、いきがしにくくなったりして、にゅういんしないといけなくなることがあり、なくなる人もいます。

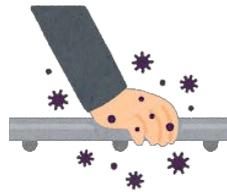
びょうきになった人のはなみずや、せきや、くしゃみに、ウイルスがはいっていて、それがかかったり、ドアノブなどについているのをほかの人がさわって、その手で口やはなにさわったりすることで、びょうきになることが多いようです。

どんなときにうつるの？



ウイルスのついた手すりや
ドアノブなどにさわると

ウイルスをもった人と
はなしたりする。



うつったら、



せき・くしゃみ



はなみず



からだのだるい



うつらないようにするには



こまめな手あらい



人がたくさんいるところにはなるべく行かない

▶ がっこうがやすみのときは

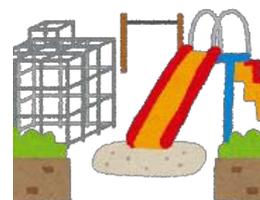
がっこうのやすみがつついて、おともだちとあそんだりすることができないと、気持ちがしんどくなり、イライラすることがあります。そうならないために、つぎのことに気をつけましょう。

① いつもどおりのせいかつをしましょう。

- たっぴりねて、ごはんは、なるべくきまったじかんに、3しょくをバランスよくたべましょう。

② うんどうできるじかんを取りましょう

- こうえんではしったり、なわとびなどをして大丈夫です。
- ゆうぐにさわったときは、手をあらいましょう。
- ゆうぐをさわった手で、はなや口などを、できるだけさわらないようにしましょう。



③ ほかに人にうつらないようにしましょう。

- せきやはなみずがある時は、でかけないでおうちですごしましょう。
- げんきな人も、マスクをするなど、うつらないようきをつけましょう。



④ ウイルスにかんするテレビやネットをみて、しんどくなったら、みないようにしましょう。

⑤ かぞくやおともだちとはなしましょう。

- いえでカードゲームやボードゲーム、おはなしなどをして過ごしましょう。
- あえないともだちとは、いえの人にそだんしてメールやでんわではなすようにしましょう。
- きもちがしんどいときは、一人でいるよりも、ちかくのおとなに相談しましょう。

⑥ きもちがしんどくなったら、そうだしよう。

・きもちがしんどくなると、こんなふうになるかもしれませんが、けっしてとくべつなことではありません。おちつけばおさまることがおおいです。

- ・あまえたくなる
- ・しんぱいになる
- ・げんきがでない
- ・かなしくなる
- ・おねしょをしてしまう
- ・イライラする
- ・おこりっぽくなる
- ・きょうだいげんかがふえる

・こんなきもちがながくつづいたり、こまったりするときは、おうちの人やせんせいなど、ちかくのおとなにそうだししてみましよう。



⑦ いじめをしないようにしましよう。

・しんがたコロナウイルスにかかった人に、きずつけるようなことをいったりしたりするのはやめましよう。

- ・たとえば、
- ・「ウイルスにかかっている」
- ・「ウイルスがうつる」
- ・などと言ってからかう、のけものにするなどです。
- ・いじめはあってはならないことです。

・もし、そのようなばめんをみかけたらおうちのひとやせんせいなど、ちかくいるおとなにそうだししてください。